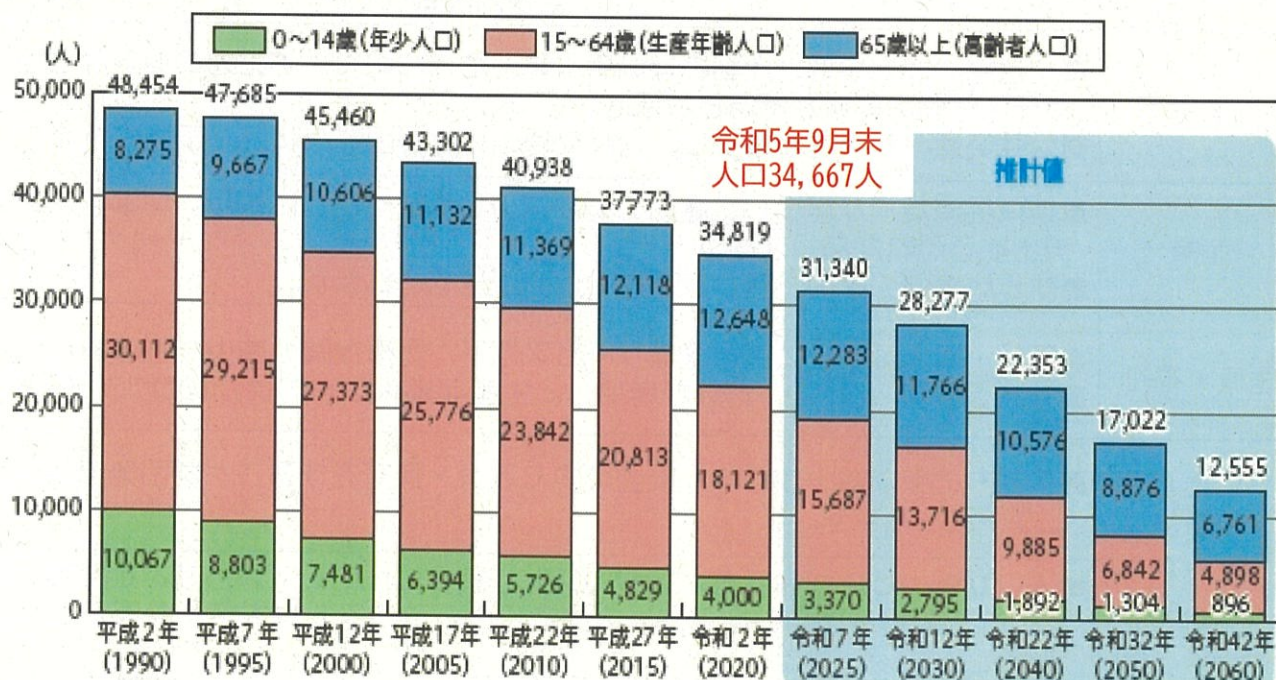


参画と協働の まちづくり指針（概要）

市民生活部まちづくり推進課

宍粟市における地域の現状

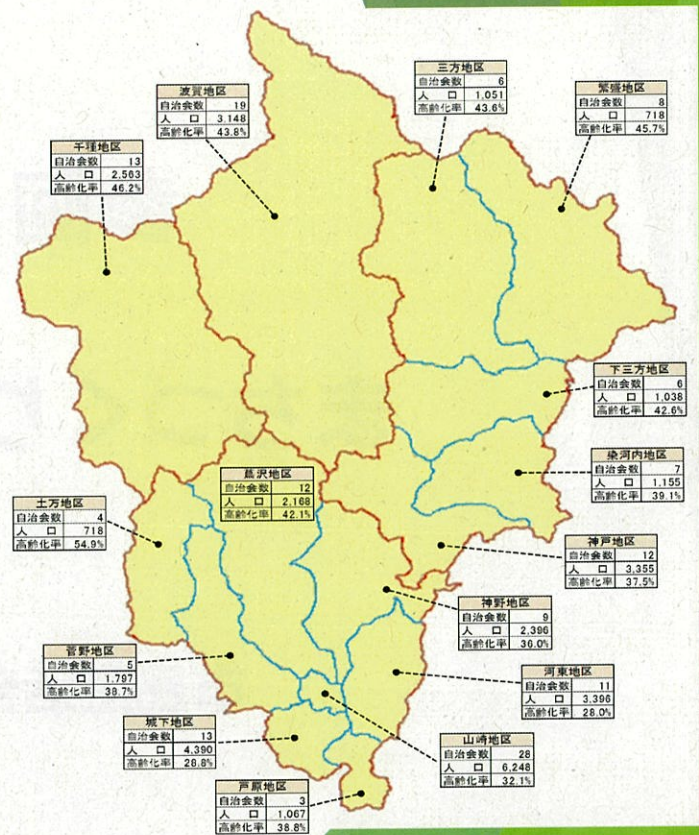
■総人口、年齢3区分別人口の推移と将来推計



市内15地区の人口と高齢化率 (令和5年9月末現在)

宍粟市
自治会数156自治会
人口34,667人
高齢化率37.3%

宍粟市では、これまでの地域コミュニティ活動を考慮して、地区自治会と同じ15地区で、地域運営組織を検討する。



人口減少により、今後、懸念される地域活動

分野	影響の内容
地域生活	■空き家の増大や地域活動の担い手不足、地域の防災・防犯力の低下など地域コミュニティ活動の崩壊が懸念されます。 ■公共交通の利用者が減少し、公共交通の維持が困難な状況が予測されます。
産業	■地域経済規模が縮小し、雇用の場が減少していくことにより、仕事を求めて人口が流出する恐れがあります。 ■耕作放棄地の増加、豊かな森林の荒廃が懸念されます。
医療・福祉	■医師・看護師不足による医療サービス低下、医療機関の減少が懸念されます。 ■社会保障費（医療・介護）が増加し、生産年齢人口への負担の増加が予測されます。
教育	■子どもの数が減少する中、集団の中で教育・保育をすることが困難な状況となることが予測されます。
行政活動	■人口が減少した場合でも、行政コストを完全に比例して減らすことは難しく、結果として行政サービスの低下や一人当たりの行政コストが大きくなることが予測されます。

参画と協働による新たな仕組み

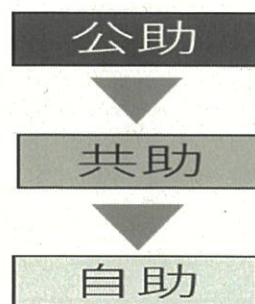
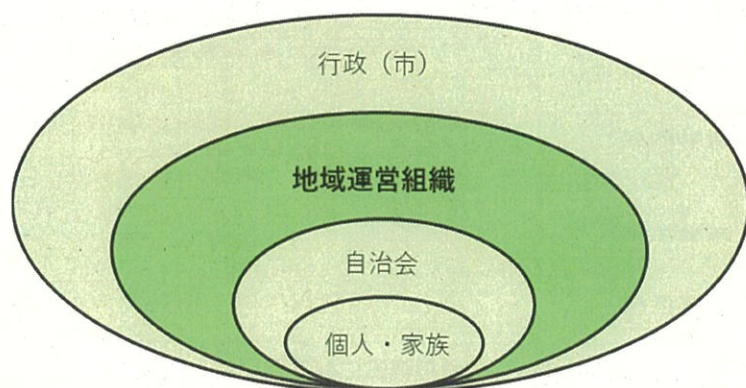
従来、地域課題にあたっての意思決定や企画・実行を担ってきた自治会は、人口が減少し、高齢化が進む中、その運営は厳しくなる傾向にあり、地域課題の対応にあたることは今後ますます難しくなることが予想されます。

これから人口減少・少子高齢化に起因する様々な地域課題を乗り越え、それぞれが生まれ育った地域で住み続けていくためには、市民やさまざまな団体、行政が力を合わせ、参画と協働による新たな地域運営の仕組みを構築することが必要です。

地域運営組織とは（総務省が提唱、全国で7,710団体/853市区町村）

宍粟市では、人口減少等により、今後ますます継続が難しくなる自治会活動を概ね小学校区を基本とする15地区で補完し、既存の自治会活動を維持していくための新たな組織として定義しています。

現在、一宮町繁盛地区（More繁盛）と千種町（千種まちづくり推進委員会）をモデル地区として、地区コミュニティ支援員を派遣して地域と協議しています。



地域運営組織の役割

地域運営組織の役割は、自治会と相互に補完、連携しながら、女性や若者などの多様な個人、学校やNPO等の各種団体の参画のもと、地域課題の解決や地域資源の活用について話し合い、実行することです。

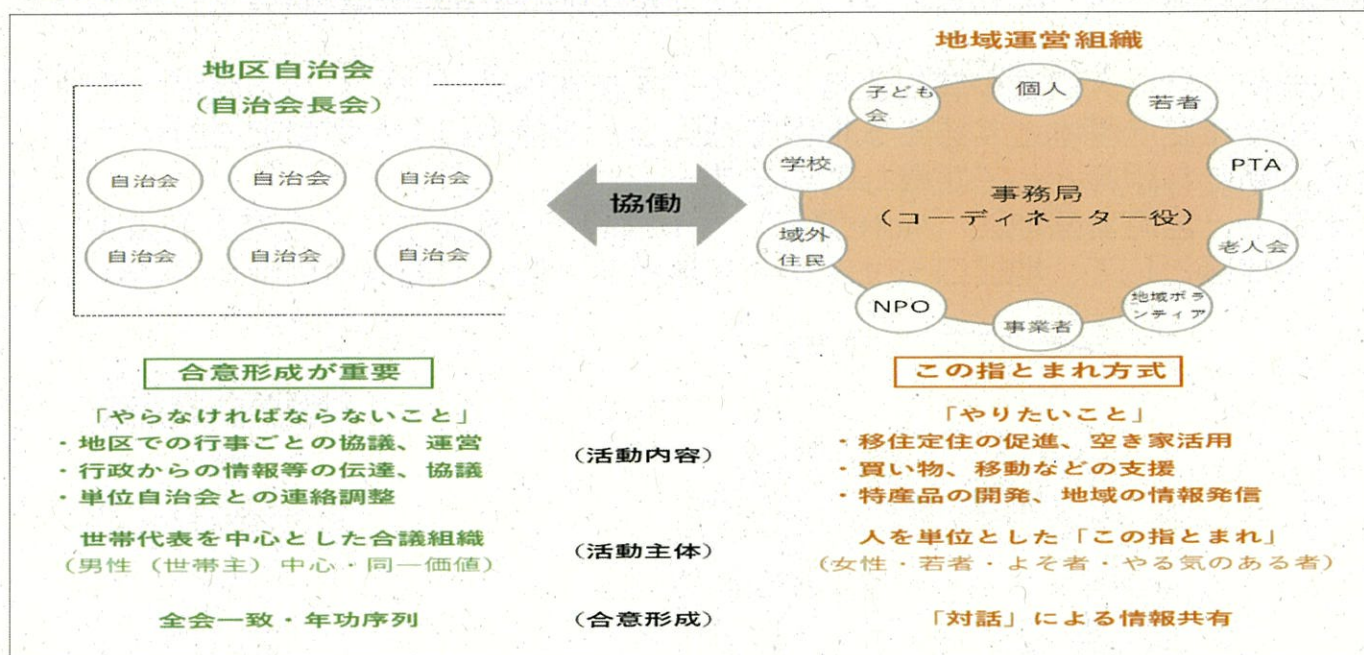
初めから多くのことに取り組むのではなく、地区で話し合い、役割分担を進めながら、地域の実状や特性に応じて、できることから取り組んでいくことが大切です。加えて、人口減少・少子高齢化が急激に進む中で、自治会長や自治会役員だけではなく、これまで地域づくりに参加する機会の少なかった女性や若者などの多様な個人が参画し、やりたいことに取り組める場を創出することも大切な役割と考えています。

- ◆地域課題の解決や地域資源の活用について話し合い、実行する。
- ◆若者や女性など多様な主体が参加でき、やりたいことに取り組める場づくり

《市が想定している地域活動》

- ◆地域振興活動
- ◆地域防災活動
- ◆地域福祉活動
- ◆生涯学習活動

自治会と地域運営組織の関係



地域運営組織がうまく機能すれば地域の活性化だけでなく、自治会活動の負担軽減になると期待しています。